

# 目次

はじめに ..... i

## 序論 課題と方法 1

- 1. 歴史と課題 ..... 1
- 2. 方法 ..... 2
- 3. 比較 ..... 3
- 4. 構成 ..... 5
- 5. 注釈 ..... 6

## I 社会主義経済の失敗

### 1 社会主義と20世紀の現実 9

- 1.1 社会制御の思想としてのマルクス主義 ..... 9
- 1.2 歴史的現実としての社会主義 ..... 12
- 1.3 ソビエト計画システム ..... 15
- 1.4 対外経済関係：国家間契約とコメコン ..... 21
- 1.5 ソビエト社会主義と国家主権 ..... 32
- 1.6 社会主義における国家と企業 ..... 35

### 2 計画の可能性：歴史と論争 39

- 2.1 問題の所在 ..... 40

## 目次

vii

- 2.2 物財バランス法による計画化：その限界 ..... 46
- 2.3 経済計算不可能論：ハイエクとミーゼス ..... 52
- 2.4 分権的計画プロセス：ランゲの市場社会主義 ..... 56
- 2.5 コンピュータとユートピア社会主義 ..... 62

### 3 計画の失敗と社会的退化 67

- 3.1 「計画の失敗」と不足 ..... 68
- 3.2 数量的調整と不足の再生産 ..... 74
- 3.3 不足経済下の消費者選択 ..... 79
- 3.4 国家独占と企業家精神の消滅 ..... 84
- 3.5 社会的退化：社会的規範の傾向的低下 ..... 87
- 3.6 分析手法に関する補論：コルナイ理論との差異 ..... 94

### 4 再分配・交換・コミュニケーション：システムと経済行為 97

- 4.1 経済システムの選択 ..... 98
- 4.2 基礎的経済行為としての「再分配」 ..... 102
- 4.3 基礎的経済行為としての「交換」 ..... 110
- 4.4 「計画の失敗」と「市場の失敗」 ..... 116
- 4.5 分析手法にかんする補論 ..... 120

## II ポスト社会主義経済

### 5 歴史の始まり 127

- 5.1 終わる歴史 ..... 128
- 5.2 システムの転換 ..... 132
- 5.3 転換の条件と可能性 ..... 137
- 5.4 歴史の始まり：「帝国崩壊」のビッグバン ..... 141
- 補論：F.フクヤマの「歴史の終わり」へのコメント ..... 145

viii

## 目次

### 6 体制転換と過渡期 149

- 6.1 転換の原理と政策課題 ..... 150
- 6.2 転換政策の優先順序 ..... 155
- 6.3 体制転換のアポリア ..... 166
- 6.4 転換と過渡期 ..... 172

### 7 過渡期の国民経済 179

- 7.1 過渡期恐慌 ..... 180
- 7.2 中欧経済 ..... 185
- 7.3 バルカン経済 ..... 199
- 7.4 スラブ経済 ..... 208
- 7.5 中央アジア経済 ..... 217
- 7.6 バルト経済 ..... 231

### 8 過渡期経済の課題 241

- 8.1 アポリアと課題 ..... 242
- 8.2 民営化の論理と手法 ..... 245
- 8.3 銀行の不良債権と企業のリストラ ..... 257
- 8.4 資本市場の創出 ..... 263
- 8.5 直接投資の役割 ..... 267
- 8.6 資本調達と対外債務管理 ..... 271

おわりに ..... 275

索引 ..... 279